

大阪21世紀協会提供 インテリジェントアレー専門セミナー 「都市文化論 ～文化によるまちおこし活動の理論と実践～」



大阪21世紀協会は、大学などの研究機関と連携し、知的成果を社会に活用する“社会学連携事業”に取り組んでいます。平成22年度はNPO法人関西社会人大学院連合と連携し、「インテリジェントアレー専門セミナー・都市文化論 ～文化によるまちおこし活動の理論と実践～」を企画・運営。今年1～3月の間、キャンパスポート大阪（大阪駅前第2ビル）で全6講座を開講し、都市の活性化につながる文化創造のあり方などについて、さまざまな視点で検討しています。各講座のテーマと講師は次の通り。(1)欧米諸国の文化政策から学べること／河島伸子(同志社大学経済学部教授)、(2)文化が地域をつくるーサントリー

地域文化賞受賞者の活動事例から／小島多恵子(サントリー文化財団主任研究員)、(3)都市文化政策と地域ブランディングー当事者の役割／初谷 勇(大阪商業大学大学院地域政策学研究科教授)、(4)市民による公共空間のマネジメントについて／山崎 亮((株)studio-L代表取締役)、(5)「経済」と「文化」の戦略的協働による地域活性化／藤原 明(りそな総合研究所プロジェクト・フェロー)、(6)大阪の町人文化に学ぶ：懐徳堂や心学の精神とまちおこし／堀井良殷(大阪21世紀協会理事長)

※(1)～(5)は実施済、(6)は3月24日(木)に実施します。

ホームページで動画映像を配信中! 『水の街道～琵琶湖・淀川水系文化圏』



第1回放送

大阪21世紀協会では、琵琶湖・淀川水系の自然と文化をテーマにした動画コンテンツ『水の街道』をケーブルテレビのK-CATと共同で制作。今年2月から、当協会ホームページで紹介しています。動画映像は計5本の内容で、順次番組を変えて配信します。番組内容は次の通り。(1)自然との共生「川端」(高島市針江地区の「川端」や畑地区の「棚田」を紹介)、(2)山と海をつなぐ使者「幻の魚」(琵琶湖・淀川水系固有の生物を紹介)、(3)銘酒を育む「名水」(淀川水系の名水を使った酒づくりを紹介)、(4)雅楽を支える「鶴殿のヨシ」(雅楽・箏箏くひちりきに用いられる鶴殿のヨシ原について紹介)、(5)世界との玄関口「淀川河口」(江戸末期に世界との窓口だった八軒家浜や川口居留地を紹介)。



第2回放送